

みなし仮設住宅入居者応援イベント「つながるエリア」開催



熊本市東区の東部交流センターを会場に、熊本地震後に県内のみなし仮設住宅に入居している方々を対象にした交流イベント「つながるエリア」を開催しました。

2017年9月2日（熊本市東部交流センター）

心と身体の元気

9月2日、熊本市東区の東部交流センターを会場に、熊本地震後に県内のみなし仮設住宅に入居している方々を対象にした交流イベント「つながるエリア」を開催。キリン株式会社も、公益財団法人日本財団や一般社団法人よか隊ネット、熊本県社会福祉協議会、特定非営利活動法人くまもと災害ボランティアネットワーク（KVOAD）からなる実行委員会の一員として、同イベントを主催した。

同イベントは、仮設団地と同様に被災者同士の交流に乏しく、被災者支援に関する情報なども入手しにくい状況にある、みなし仮設住宅入居者の方々の交流促進と各種相談受付を目的に実施。当日は、受付開始と同時に長蛇の列ができ、約2,600名が来場。キリン商品の飲料提供をはじめ、協力企業による軽食（ロイヤルグループ）、生活用品（生協くまもと）、衣料品（鶴屋百貨店、オンワード樫山）などの提供も行われた。

また、法律・建築・金融・健康・福祉などの専門家による相談窓口も開設され、被災者支援のための補助金申請についてや、今後の生活再建に関する悩みごとなど、さまざまな相談が寄せられた。このほか、マジックショーなどのステージイベントや抽選会も行われ、みなし仮設への入居以降、慣れない土地で不安を抱えて生活している皆さんの顔にもひと時の笑顔が戻っていた。

コメント①

キリンビール株式会社 熊本支社長 麻生 芳彦

キリングループでは、昨年の熊本地震発生以降、日本財団様の協力の下、「復興応援 キリン絆プロジェクト」を展開しております。今回の「つながるエリア」は、同プロジェクトの3つのテーマの一つ、「心と身体の元気サポート」として協力させていただきました。短い時間ですが、みなし仮設住宅にお住まいの皆さんに癒しを提供するとともに、交流支援につながればと考えております。地震から1年半が経過し、ハード面の復旧・復興は着実に進んでいますが、最後の課題として残るのは「人と人のつながりを再生すること」だと思います。キリングループでは、今後もそうしたソフト面でも継続的な支援を行って参ります。



コメント②

公益財団法人 日本財団 経営企画部長 荻上 健太郎 様

くまもと災害ボランティアネットワーク（KVOAD）様をはじめ、大勢の皆さんと準備を進めてきたイベントが無事開催され、大変嬉しく思います。みなし仮設にお住まいの皆さんは、慣れない地域での生活で近隣とのつながりも希薄で、コミュニティの中で孤立しがちです。今日のイベントが、そうした方々同士が出会い交流を図る素晴らしい機会だと思います。また、みなし仮設住宅は、支援する側にとっても「見づらい」ので、こうした場でつながることで、新たな支援のきっかけが生まれることにも期待しています。



コメント③

特定非営利活動法人くまもと災害ボランティアネットワーク（KVOAD） 代表理事 樋口 務 様

本日は、主催者の想定を超える来場者にお越しいただき本当にありがとうございます。ただ、裏を返せば、みなし仮設住宅にお住まいの皆さんの中には、まだまだ地震の影響で困っている人、悩みを抱えている人が少なくないということ。みなし仮設住宅の方々は、所在の確認や実態の把握が難しく、十分な支援が行き届かないケースもあります。こうした場に出てくることで情報を得たり、困りごとについて専門家に相談したりしていただき、少しでも生活改善につながればと思います。



コメント④

ロイヤルホスト株式会社 社長付 高崎 健二 様

ロイヤルグループでは、私たちの持つ「食」や「ホスピタリティ」という強みを、社会貢献に役立てようと、2011年から15年まで、東日本大震災の被災地・宮城で炊き出しなどの食事提供や復興イベントへの出店などの支援に取り組んできました。昨年の熊本地震の際も、避難所となっていた益城町総合体育館で、1日1,000食の温かい食事を計5日間提供させていただきました。今回はローストビーフサンドをご提供しましたが、皆さんからの「おいしかった」という言葉がとても嬉しかったです。



コメント⑤

来場者 宮本 広美 様

自宅が大規模半壊の判定を受け、西区蓮台寺から北区四方寄のみなし仮設住宅に引っ越しました。当初は避難所にいましたが、産後すぐで子どもが泣くので、長く車中泊で過ごしました。ようやくみなし仮設に入居することができましたが、子どもたちは校区外から元の小中学校に通っているのも、その送迎が大変です。みなし仮設に入居していると被災者支援の情報もなかなか入ってこないのも、こうしたイベントは助かります。



コメント⑥

来場者 川元 定二（麒麟ビール熊本支社勤務）

東区若葉在住ですが、住んでいたマンションが半壊となり、今年の3月から中央区九品寺のみなし仮設に入居しました。通勤には便利になったものの、以前の住まいのすぐ近くには実家があり、そちらも大規模半壊の判定を受け、現在、両親もみなし仮設で暮らしています。母が要介護状態なので、以前より離れて暮らすことに不安もありますが、こうしたイベントに参加して気持ちも少し前向きになりました。

